

# 目 次

## 論 文

- 形而上派詩とニュー・クリティシズム - モダン、ポストモダンって  
いったい何・・・・・・・・・・・・・・・・・・安藤 重治 1
- 『日本靈異記』から見る律令国家の王土思想・・・・・・・・・・伊藤 信博 19
- 『坊っちゃん』と『草枕』を読み返す - 「語り」の視点を手がかりにして  
・・・・・・・・・・・・・・・・・・柴田 庄一 37
- 調和と死 - 戦意高揚詩としての“Little Gidding”・・・・・・・・・・長畑 明利 55
- 村上春樹の「閉じられた庭」・・・・・・・・・・・・・・・・・・西川 智之 71
- A Mexican Tragedy: The Mutilation of a Cinematic Masterpiece  
・・・・・・・・・・・・・・・・・・ピーター・B・ハーイ 87
- “ウィーン古典派”の音楽を読み直す・・・・・・・・・・藤井 たぎる 117
- 政治の原風景・・・・・・・・・・・・・・・・・・布施 哲 133
- 嫦娥は家を出てからどうなったか - 魯迅「奔月」再読・・・・・・星野 幸代 149
- 森鷗外「阿部一族」を読み直す - 日本の男の主体とは・・松本 伊瑛子 159
- シェイクスピアを読み直す - 身体論登場とその背景・・・・・・村主 幸一 173
- Authority and Subversive Narrations: Rereading the *Canterbury Tales*  
・・・・・・・・・・・・・・・・・・デイヴィッド・S・ラムジー 195
- 夏目漱石の『坑夫』における語りの仕組みと明暗・・・・・・・・・・涌井 隆 217
- ファンタジーの古典『指輪物語』を読み直す - 王権と道化について  
・・・・・・・・・・・・・・・・・・渡辺 美樹 231